

# 令和元年中の交通事故発生状況

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛知県	30,836	△ 4,422	156	△ 33	37,011	△ 5,537
稲沢市	492	40	0	△ 4	595	77

## 【愛知県の状況】

令和元年の人身事故件数は、平成30年より4,422件少ない30,836件となり、12.5%の減少となりました。交通事故死者数は156人（同33人減）と減少し、全国ワースト1位を返上しましたが、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔交通事故死亡事故の主な特徴〕

年齢層別では、高齢者（65歳以上）が80人（同23人減）、一般（25～64歳）が60人（同4人減）、若者（16～24歳）が14人（同3人減）、子ども（15歳以下）が2人（同3人減）となっており、高齢者の割合が全体の5割を占めています。

当事者別では、歩行者が46人（同23人減）、四輪車が50人（同8人増）、自転車が25人（同11人減）、自動二輪が20人（同9人減）、原動機付自転車が9人（同3人減）の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

## 【稲沢市の状況】

令和元年の人身事故件数は、平成30年より40件多い492件、負傷者数は、平成30年より77人多い595人となりました。交通事故死者数は、平成30年より4人減り0（ゼロ）人でした。

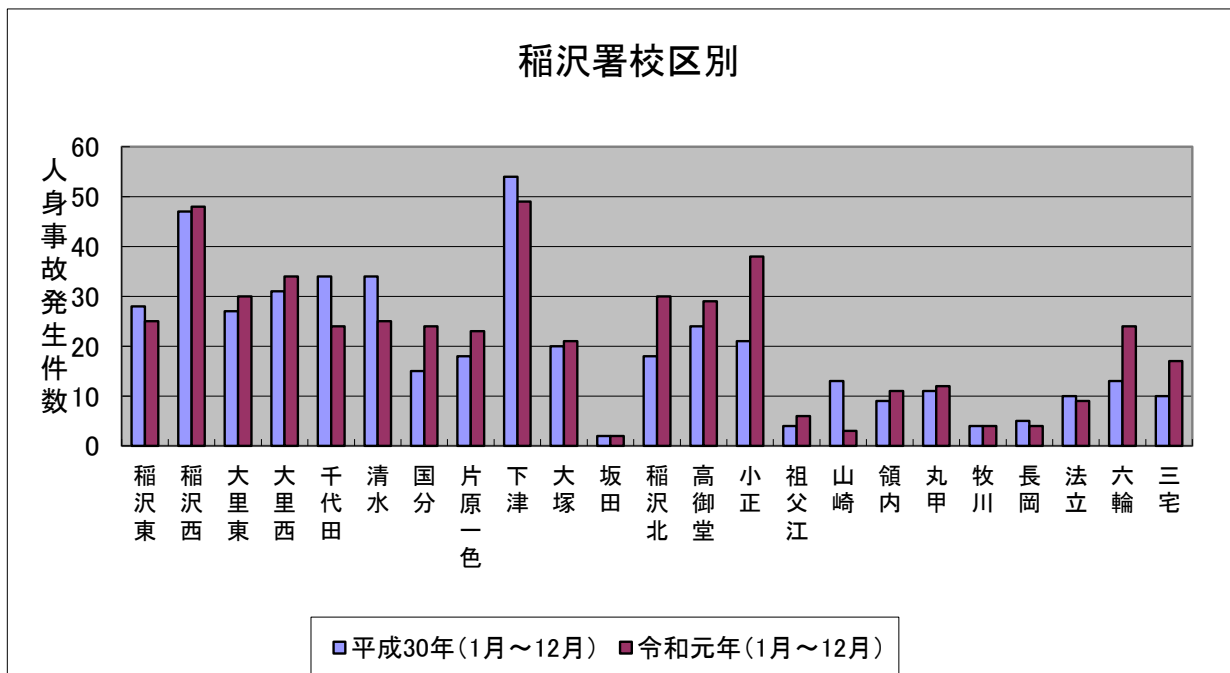
〔交通事故の主な特徴〕

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約70%を占めています。

また、時間帯別では6時から18時、法令違反別では安全不確認や前方不注意、道路形状別では交差点での事故が多くなっています。

地域別では、稲沢402件（同29件増）、祖父江40件（同6件減）、平和50件（同17増）となっています。

小学校区別では、下津、稲沢西の順で発生件数が多く、六輪、小正、三宅、稲沢北、国分、祖父江、片原一色、領内、高御堂、大里東、大里西、丸甲、大塚が前年に比べ増加しています。



## 【事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・夜間の外出には、明るい目立つ色の衣服や反射材を着用しましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかりと確認し、無理な横断はやめましょう。



**安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。**